

議員派遣結果報告書

令和7年第3回定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和7年12月3日

愛南町議会議長 吉田 茂生 殿

愛南町議会議員 鷹野 正志

記

I 研修の経過（議員派遣の概要）

本議員派遣は、令和7年10月8日（水）に四国地区町村議会議長会が開催した第63回四国地区町村議会議長会研修会を受講したものである。

II 第63回四国地区町村議会議長会研修会

日時 10月8日（水）13:00～16:35
場所 ANAクラウンプラザホテル松山（愛媛県松山市）
議員 山本美佐、田中純樹、岡雄次、尾崎惠一、池田栄次、
吉田茂生、石川秀夫、鷹野正志、中野光博、濱本元通
以上10名
（欠席：金繁典子、嘉喜山茂、原田達也、吉村直城）
事務局 主幹 尾川美保

研修内容 四国地区町村議会議長会表彰並びに講演

講演1 演題 どこへ行く日本の政治

講師 政治ジャーナリスト

元日本テレビ政治部次長兼解説委員 青山和弘氏

講師自身の長年の政治ジャーナリストとしての経験や国会議員とのつながりの中で得た情報等に基づく今後の日本の政治の流れについての話があった。

自民党総裁選挙がこの研修の数日前だったため、自民党初の女性総裁の就任についてなどの今の日本の政治の時宜にかなった話題が主であった。

講演2 混迷の時代に「幸せ言葉術」のすすめ

～アナウンサー人生で学んだ知恵～

講師 元NHKアナウンサー

立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員 三宅民夫氏

アナウンサーとして長年「伝える仕事」に携わってきた講師自身の経験から「言葉」の持つチカラについて話された。言葉にはいい言葉、悪い言葉があり、いい言葉は、明日への励まし、心や命の杖になる。否定から入ると言葉は相手に届かない。否定されないことで心理的安全性が高まると仕事の業績アップにつながる。相手を否定する言葉を使わないようにするために常に心のゆとりを持っていることが重要であり、そのためには、十分な睡眠、ストレッチや深呼吸などを意識した生活を送ることが必要であると話された。

全体を通して、人とのコミュニケーション、思いやりの大切さについて改めて気づかされる内容であった。

研 修 報 告 書

第 63 回四国地区町村議会議長会研修会について、次のとおり報告します。

1. 研修名（主催者） 第 63 回四国地区町村議会議長会研修会
(四国地区町村議会議長会・愛媛県町村議会議長会)
2. 研修視察日時 令和 7 年 1 0 月 8 日 13 : 00 ~ 16 : 35
3. 研修視察先 愛媛県松山市 (ANA クラウンプラザホテル松山)
研修内容
講演 1 演題 「どこへ行く日本の政治」
講演 2 演題 「混迷の時代に「幸せ言葉術」のすすめ
～アナウンサー人生で学んだ知恵～」
4. 研修目的 地方行政及び議会の制度運営等に関する研修のため
5. 所見・所感

(報告 1)

最初に自治功労者表彰が行われ 11 人が表彰されました。

続いて講演が 2 つ行われ、初めに政治ジャーナリストの青山和弘氏から、10 月 4 日に高市早苗氏が自民党の新総裁になった事で今後予想される政局についての話がありました。

また元 NHK アナウンサーの三宅民夫さんは自身の体験を交えながら、「言葉には人を励まし、心をつなぎ、命を支える力がある」と語りました。

体調不良で腎臓を摘出した際、先輩アナウンサーから届いた励ましの手紙が支えになったことや、認知症の母との関わりの中で「否定ではなく肯定の言葉」が大切だと気づいたことなど、言葉の重みを感じさせるエピソードが印象的でした。

(報告 2)

講演 1 では、メディアの視点から国会の様子を詳しく知ることができ、とても興味深かったです。議員の立ち振る舞いを見て、改めて多くの人がどう感じるかを考えるきっかけになりました。また、政策の違いによる対立なども含め、自分の考えをしっかりと伝えることや、議員同士の意見交換の大切さを改めて感じることができました。

講演 2 では、先生がご自身の経験を交えながらお話ししてくださり、言葉の素晴らしさをより深く感じることができました。アナウンサーという、声と言葉を大切にすることならではの、話すときの呼吸や心を惹きつける声の魅力に感動しました。先生のお話を日常に取り入れて、活かしていきたいと思える素敵な講演でした。

(報告 3)

青山和弘氏から 「どこへ行く日本の政治」
現在の日本の政治の流れ、特に高市総裁の今後予想される問題点や地域自治体から見た問題などを学びました。

三宅民夫氏から 「混迷の時代に幸せの言葉術のすすめ アナウンサー人生で学んだ知恵」

アナウンサー人生を通して言葉で気づいたことなど説明してもらいました。

両公演とも、とても学びが多く、参考になりました。

(報告 4)

講演 1 「どこへ行く日本の政治」について

自民党総裁選挙後の講演であり、生々しい現状分析もあり、政治の裏側を少しだけ垣間見ることができ非常に参考になりました。

講演 2 「混迷の時代に「幸せ言葉術」のすすめ」について

言葉は人の心を動かすとともに、希望を与え、明日への励ましになることもある。思いやりのある言葉は絆を深め、無意識の一言が人生を変えることもある。言葉は最高の贈り物であることを実感致しました。

(報告 5)

講演 1

自民党総裁選における分析と今後の国政の情勢・展開について深く認識した。一般に報道されていないエピソードが印象深かった。

講演 2

混迷の時代の言葉の役割・大切さ、伝え方を理論的に認識した。講師の体験

を交えながらの内容で理解が深まった。相手を否定せずに相手を説得・修正する対話の工夫の大切さを深く認識した。今後、議員活動に活用していきたい。

(報告 6)

〈講演 1 について〉

高市政権を前提とした政権運営の展望について、青山氏の講演は非常に示唆に富んでいました。連立や解散のタイミングは、政権の戦略と成果のバランスが鍵であり、政治判断の重要性を改めて認識しました。地方政治においても、国政の動向を的確に捉え、住民の声を反映する姿勢が求められると感じました。

〈講演 2 について〉

三宅民夫氏の講演では、言葉が人の心に与える影響や、混迷の時代だからこそ言葉の力が求められるという視点が印象的でした。日々の議会活動においても、言葉の選び方ひとつで伝わり方が大きく変わることを改めて認識し、住民との信頼関係を築く上でも大切な学びとなりました。

(報告 7)

講演 1

TV のワイドショウ的な話で特段興味はわかかなかった。

講演 2

長年 NHK で働いた経験の話で混迷の時代を生き抜く知恵と方法を教わった。特に話し方が丁寧で人に言葉を伝える姿勢が非常に参考になった。

(報告 8)

講演 1 : 自民党の総裁が高市早苗になったことで、政界がどのように変わるか、最新の情報やいわくつきのエピソードなど、興味深い話題が持ちきりで、大変面白かったです。ただ、これから自民党含め、日本の立て直しを如何にしているか大いに期待しています。

講演 2 : アナウンサーの経験を生かし、言葉が持つ力がいかにところを左右するかを含め、人とのつながりの大切さなど参考になりました。

(報告 9)

人生は出会う人に左右される。NHKの先輩である鈴木アナウンサーのような素晴らしい人との出会いが大切であるというお話しにとっても感銘を受けた。

(報告 10)

大変勉強になりました。

今後の議員活動に役立てたいと思います。